

リニア中央新幹線事業に係る関係市町村長と JR 東海との意見交換会概要

建設部リニア整備推進局

1 日 時 令和4年12月21日（水）15：00～17：15

2 場 所 飯田合同庁舎 3階講堂

3 出席者

- <市町村長等> 飯田市、下伊那郡 13 町村、中川村、南木曾町、南信州広域連合
- <長 野 県> 建設部リニア整備推進局長、南信州地域振興局長、飯田建設事務所長
- <J R 東 海> 宇野 護副社長 他6名
- <鉄道・運輸機構> 関東甲信工事局次長

4 冒頭あいさつ

【リニア整備推進局長】

- ・長野県内のリニア本線工事は、6工区で本体工事に着手され、明日には長野県駅（仮称）の安全祈願・起工式が予定されるなど、工事がますます本格化している。
- ・令和3年11月以降、労働災害が連続して発生したことについては、連絡体制の見直し、安全管理を県内全工区に適用するための仕組みづくり、JR東海HP内に「長野工事事務所からのお知らせ」ページの作成など、様々な対応をいただいている。
- ・県としても、リニア関連の道路事業を進めており、国道153号の飯田北改良、街路事業の市場桜町線は、年度内に工事着手に向けた準備を進めている。
- ・地域振興に関しても、機運を高めるため、四半期ごとに伊那谷リニアバレーニュースの作成や、JR東海とコラボして飯田線の車内に情報コーナーを設け、情報発信をする取り組みを実施している。
- ・静岡工区において、水資源に関する地域の不安や懸念が払しょくされるよう、真摯な対応を継続するとともに、静岡県をはじめとした地元自治体の理解が得られるよう積極的に意思疎通を図っていただき、1日も早く問題が解決され、事業が前進することを強く要望したい。
- ・この意見交換会は、リニア開業を見据えて、懸案課題を早期に解決することや関係機関の連携を密にすることを目的として開催している。今回で8回目。
- ・県内でも工事が年々本格化しており、運搬車両の増加や環境面に対しての不安の声などが出てきている。地域の様々な課題に対し、より一層迅速に、寄り添った対応をお願いしたい。
- ・県としても、JR東海と市町村とともに、しっかり課題解決に取り組んでいく。

【南信州広域連合長（飯田市長）】

- ・リニア開通による大都市圏との時間距離の大幅な短縮によりこの地域にもたらされる効果は大変大きいものと期待している。リニア開通効果をしっかり活かせるよう、しっかり地域づくりを進めてまいりたい。

- 一方で、いろいろな心配事もあり、本日、それぞれの市町村長からお話しさせていただきたい。
- ぜひお聴き取りいただき、前向きにご検討いただきたいと思います。

※個別の課題に関する発言は、「6 意見交換内容（発言要旨）」にまとめて記載。

【JR東海副社長】

- 昨年11月に各工区の施工会社とともに、中央新幹線安全推進協議会を設置。この1年間、定期的に協議会を開催してきた中で、労働災害防止に関して推奨される取り組みということで、山岳トンネル工事における一層の安全向上のために、切羽付近における坑内カメラの設置や、より高い照度の確保等に全ての施工会社で取り組むなど、労働災害の防止に、より強力に取り組んでいるところ。
- 長野県内においては、緊急連絡体制を整備し、災害発生時等には長野県や関係市町村に速やかに連絡をできる体制を整えた。
- 静岡工区は、依然として工事に着手できていない状況。昨年12月に国土交通省が設置した水資源に関する有識者会議において中間報告を取りまとめられた。今年4月には、工事中の一定期間、山梨県側に流出するトンネル湧水を大井川に戻していく具体的な方策についてもお示ししている。また、今年6月には環境保全に関する有識者会議が開催されている。私どもは真摯に対応して、早期の工事着手に向けて対応していく。
- 長野県内の工事の進捗状況については、9月に南アルプストンネル長野工区の工事現場を公開し、長野県駅（仮称）は、明日安全祈願・起工式を行うなど、着実に進んでいる。
- 発生土置き場候補地は、現時点で18箇所が置き場として決定しており、それ以外にも約30箇所に関係機関や地元、地権者と調整中。
- 土石流危険渓流等に指定されている地域にある置き場もあるが、私どもが計画する置き場については、調査、設計、施工、管理をしっかりと行って安全性を確保することに取り組む。
- 長野県において「長野県土砂等の盛土等の規制に関する条例」が施行される。今後は、この条例に基づき県にご確認いただくということもあり、地元の皆様がよりご安心できるような形で進めていきたい。
- 要対策土について、自社用地での活用を当然考えているが、長野県内の自社用地での活用には限りがあるため、公共事業などでの活用も含め、最終的な活用先の斡旋をお願いしたい。
- 令和4年12月13日から、長野県との共同企画で、飯田線を走行している213系車両内でリニア中央新幹線及び飯田線沿線の魅力を情報発信する場としてポスター掲載している。引き続きこのようなりニア中央新幹線の機運醸成、飯田線の活性化に県とも連携して取り組む。
- 「工事の安全」、「環境の保全」、そして何より「地域との連携」を重視し、事業を進めていくので、皆様には引き続きご支援、ご協力をお願いしたい。

5 工事の状況説明

○JR東海から各工区の状況等を説明。

6 意見交換内容（発言要旨）

■懸案事項への対応

●環境保全対策

【市町村】

- 防音・防災フードの問題がまだ片付いていない。地元に取り添った対応をお願いしたい。（飯田市）
- 事後調査やモニタリング調査の結果の公表をぜひお願いしたい。四半期ごとに地域に公表している工区もあると聞いており、これを少なくとも長野県内の全工区で行っていただきたい。（飯田市）
- 環境測定について、住宅も近接していることから、随時測定結果を公開していただきたい。（喬木村）
- 男滝・女滝という観光スポットの下をリニア本線が通る。アセスの中では影響がないとしているが、万が一影響があった場合の対応や補償について確認したい。（南木曾町）

【JR東海】

- ・環境測定の結果について、万が一、異常な値が発生した場合、関係市町村に速やかに情報提供を行う。
- ・飯田市座光寺地区における環境対策工について、飯田市に力添えをいただき、地域の方々の理解を得られるよう、説明しているところであり、引き続きご協力をお願いしたい。
- ・大鹿村から発生土を搬出する際に通行する中川村の渡場交差点や、松川町の七椏神社付近において、大気質、騒音、振動の測定を行ない、測定結果は地元の皆様に対して定期的にお知らせしているところ。工事用車両が通行する前の結果と比較し、平常時より大きい値が出た際の分析など、調査結果の検証も行っていく。
- ・喬木村からのご意見について、大気質や騒音、振動の測定回数を増やすこと、日々の測定結果を周辺住民の方に示すことは、大鹿村や中川村での実績を踏まえて行っていく。
- ・中川村からご意見いただいた舗装の修繕について、工事用車両の走行により舗装が損傷するなど、道路の修繕を行う必要が生じた場合にはしっかりと対応する。
- ・南木曾町の男滝・女滝がある男埴川の流量観測について、今後行っていく。また、万が一異常が発生した場合、対策や補償等、適切に考えていきたい。

●発生土

【市町村】

- 下流域住民を含めた関係者への丁寧な説明と、将来にわたって安心できる対策の検討をお願いしたい。（飯田市）
- 発生土置き場や工事用道路など、設計が固まる前に途中経過等を相談いただけると話が進むのではないかと感じている。柔軟な対応をお願いしたい。（阿智村）
- 当村の発生土置き場候補地では、先日工事説明会が行われた。今後地権者との調整や許認可の手続きなどが本格化するので、連携して進めていきたい。（下條村）
- 要対策土の活用に向けた検討について、検討状況や試験施工の進捗状況等を適宜情報提供していただきたい。また、今後利活用するためには、住民の皆さんの理解と合意が前提となるので、安全に対する十分な知見やしっかりとした説明をしていただくようお願いしたい。（大鹿村）
- 発生土置き場の計画について、安全で安心な地域をつくるという観点から、候補地の地元市町村、国、県との調整を綿密に行ってほしい。（中川村）
- 地域の皆さんが安心、納得できる工法や進め方をご提案いただく、あるいは地域の皆さんの声にもう少し耳を傾けていただくなど、発生土置き場の計画の進め方について配慮いただきたい。（南木曾町）

【JR東海】

- ・発生土置き場については、現時点で18箇所が置き場として決定しており、それ以外にも約30箇所に関係機関や地元、地権者と調整中。
- ・地域の皆様に、過去の三六災害や、昨年7月の静岡県熱海市の土砂災害による不安があることを十分に認識しており、皆様の理解を得られるよう、丁寧に説明していく。
- ・土石流危険渓流などに指定されている地域においても、現地で調査を行ったうえで、設計、施工管理をしっかり行い、安全性の確保をする。
- ・令和5年1月1日施行の「長野県土砂等の盛土等の規制に関する条例」に基づき、県にもご確認いただき、今後とも地域の皆様に一層安心いただけるよう努めていく。
- ・発生土置き場の管理について、地権者や地域の方々のご意向を踏まえ、造成完了後も当社において管理することも含め調整し、安心いただけるよう対応する。
- ・阿智村では、今年の9月から村道の拡幅工事を行っている。発生土置き場の計画についても、地元のご意見をお聞きし、質問にも誠実にお答えするなど、丁寧な調査説明に努めていく。
- ・要対策土について、不溶化による活用を検討するため、年明けから自社用地で試験施工を行う予定。活用方法の検討状況や、試験施工の進捗状況等について情報提供し、自社用地での活用の他にも公共事業などでも利活用いただけるようにしていきたい。
※不溶化：岩石・土壌からの重金属等の溶出、しみ出しを低減させるため、材料を添加する対策。
- ・南木曾町の十二兼踏切改良工事が、令和4年11月30日に完了した。発生土置き場については、引き続き地元のご意見をお聞きし、安心いただけるように計画を策定していく。

- ・下條村においては、睦沢の発生土置き場について、工事に関する説明会等を実施し、令和4年12月16日に環境保全計画を公表した。来年の春からは準備工事、樹木の伐採、表土のすき取り、工事用道路の整備などを開始する予定。

●工事車両の運行及び安全対策

【市町村】

- 今後、工事用車両が増えていくことになると思うので、安全対策をしっかりと行っていただきたい。また、一般車への影響をできるだけ回避できるよう、私どもと意見をすり合わせしていただきたい。（飯田市）
- 昨年度は、観光シーズンにおける土曜日祝日の工事用車両の運休にご配慮いただき感謝申し上げます。今後の運搬計画についても、更なるご配慮をお願いする。（松川町）
- 発生土の運搬において交通事故等が発生した場合には、迅速な情報発信をお願いしたい。（松川町）
- 工事用車両の通行台数やルート調整について、リニア本線工事だけでなく、リニア関連の公共事業も重なってきており、どこでどのような通行車両があるのかということを知っていると、住民の皆様をうまく誘導できない。毎年お願いしているが、どこかで一緒に検討するような機会を設けられるとよい。（喬木村）
- 観光シーズンの土曜日運休について、今年1年かけて村の観光協会を中心に協議してきた結果、土曜日の発生土運搬日をかなり減らしてもらった。村内で発生土を活用する環境対策事業の見通しも立ってきたので、今後においてもさらに観光に配慮した運行計画をお願いしたい。（大鹿村）
- 旅行者からは、発生土運搬車両の運転手の皆さんは非常にマナーがいいという好印象の意見も承っている。（大鹿村）
- 地元住民としては、発生土の運搬に一番関心を持っている。歩道やキングポスト、カラー舗装の設置などの運搬路の安全対策は、道路管理者である県で実施していただいているが、リニアの発生土運搬による影響は大きいと思うので、より一層、道路管理者と協力して対応していただきたい。（中川村）
- 県外など各地から工事用車両が集められているので、運転手への安全教育は、しっかりと行っていただきたい。（中川村）

【JR東海】

- ・工事用車両の通行に際しては、一般車両を優先し、交通法規の遵守、運行マナーなどに配慮するとともに、通行ルートを分散化するなど、できるだけ地元には負担がかからないように取り組んでいる。
- ・このような取り組みを評価していただける発言があった一方で、遠方から来られる運転手にも指導を徹底するようご指摘いただいたので、心掛けていく。
- ・多くの市町村とは、工事用車両の運行に関する確認書を締結しており、確認書に基づき、工事の

影響の軽減や、安全対策の徹底に努めていく。

- ・工事用車両の通行時に、万が一、交通事故が発生した場合には、関係市町村に迅速に情報を共有し、再発防止対策を行っていく。
- ・観光シーズンにおける工事用車両の運休についてのご要望は十分承知している。大鹿村からの発生土運搬では、ゴールデンウィーク、お盆、年末年始に加え、土曜日に 17 日間を運休とした。来年度もできるだけ観光シーズンに配慮した運行計画とできるよう、引き続き取り組んでいく。
- ・喬木村における工事用車両の運行について、村内の工事ではなくても喬木村内を工事用車両ルートとする場合には、しっかり村に連絡する。

●静岡工区及び開業時期について

【市町村】

○開業時期について、現時点で明示できる状況にないことは承知しているが、私どもとしても、まちづくりや企業誘致の話を進めるのに重要な情報である。開業時期に関する情報についても、何らかの形で示していただけると大変ありがたい。（飯田市）

【JR東海】

- ・南アルプストンネル静岡工区は、依然として工事に着手できていない。
- ・開業時期について、現時点でお示しすることは難しいが、早期の開業を目指す考えに変わりはなく、長野県における工事については、引き続きペースを緩めることなく進める。

●労働災害への安全対策

【市町村】

○今年1年で発生した労働災害について、機械運転時の安全確認など、人為的ミスが多く見受けられる。工事が順調に進められるように、より一層安全対策にはご配慮いただきたい。（大鹿村）

【JR東海】

- ・労働災害の発生については、重く受け止めている。それぞれの原因を調査し、再発防止策を講じるとともに、現場で働く方々が安心して工事に携わっていただけるよう、発注者として施工会社と気持ちを一つにして、強力に事故発生防止に取り組んでいる。
- ・当社と施工会社が一体となって、中央新幹線安全推進協議会を発足し、運営している。これにより、他工区の情報も共有してしっかり対応していく。

●市町村業務における課題

【市町村】

○県が受託している用地協定が令和5年度末で終わるとのことであり、協定終了後の対応をどのように考えているか教えていただきたい。（喬木村）

○役場や地域ともしっかり連携していくため、人員体制や連携体制が密になるよう配慮いただきたい。
また、対策協議会などに係る費用や職員の負担等は大きいので、そのような面もご配慮いただきたい。（南木曾町）

【JR東海】

- ・長野県に委託している用地取得について、着実に進捗しており、感謝申し上げます。引き続きご協力いただきながら、できる限り協定期間内に完了できるよう努めていく。
- ・令和5年度末に用地協定が終わった後の対応については、現時点で明確に申し上げることはできないが、しっかりと検討させていただきたい。
- ・平成23年に当社の費用負担で中間駅を建設するとした際、地方自治体の皆様には、用地取得の斡旋をはじめとし、行政サイドからの工事の促進に係る様々なご協力をお願いしているところ。
- ・品川から名古屋までの共通の対応であるが、特定の市町村が主催する対策委員会や独自で行われる環境調査については、他県を含めご支援していないので理解いただきたい。

■地元とのコミュニケーション

●地元への対応、情報提供

【市町村】

○リニア事業は、関連事業を含めて地元の皆さんや、土地をお譲りいただく地権者の皆さんのご理解があって初めてできる。JR東海には、地元の皆様に寄り添った対応をお願いしたい。（飯田市）

○私ども行政や住民の皆さんに対する情報公開を、ぜひ積極的に行っていただきたい。情報公開の姿勢が、この事業全体の信頼感に繋がっていく。（飯田市）

○人の付き合いや顔のつながりが大切。工事が本格化するにあたり、現地事務所の設置をお願いしたい。（阿智村）

○今後工事が本格化するにあたり、課題に対する方向性や解決策などをスピーディーにやることが、住民に不信感を抱かせないことになるかと思うので、スピーディーな対応をお願いしたい。（下條村）

○いろいろな経過の中で、いろいろな方々に説明をしていただくことが非常に大切。誠実な対応をお願いしたい。（下條村）

○非公開で実施している地元説明会等について、原則公開で実施していただけるとありがたい。（喬木村）

○JR東海のホームページのレイアウトについて、リニアの知りたい情報にたどり着くのが難しい。県や各市町村とリンクを貼るなど、改善いただけるとありがたい。（喬木村）

【JR東海】

- 県、市町村、地域の方々との信頼関係が何よりも重要であるということを十分認識しており、日ごろから各地区の連絡協議会や対策委員会等を通じ、定期的にコミュニケーションをとっている。
- 当社の人員は限られており、各地に現地事務所を設置することは難しいが、今後とも、地域の方々の意見を踏まえつつ、丁寧な対応ができるよう、体制の強化等に努めていく。
- 当社が主催する説明会では、参加される方が質問しやすい環境を整え、地域の皆様に1人でも多く参加いただけるよう、取材活動を目的とした報道関係者の参加は原則遠慮いただいている。正確な情報を発信するための工夫という点については、地元や行政の方々と率直に意見交換をしながら検討していく。
- 中央新幹線に関する当社のホームページにおいて、令和4年10月より「長野工事事務所からのお知らせ」を新たに設けた。長野工事事務所における積極的な情報展開の一環として、山岳トンネルにおける安全対策や交通安全街頭指導などの取り組みについて情報提供している。
- 引き続き、地域の皆様によりわかりやすく、スピーディーで適切、的確な情報提供に努めていく。

■その他

【市町村】

- 駅のデザインについて、飯田市で進めている駅周辺整備とうまく調和するようなデザインをお願いしたい。（飯田市）
- 先ほど工事の状況説明をしていただいたが、手元に資料がない中ではメモもしきれない。資料の出し方等についてご配慮いただきたい。（松川町）
- 当村は中津川市と近く、そちらの進捗や、住民や行政の考えを知りたいので、JR東海には間を繋いでいただきたい。（阿智村）

【JR東海】

- 資料の出し方等について、配慮していく。
- 飯田市において、令和4年12月4日に駅周辺整備事業の土木工事実施設計を公表された。引き続き調整を図りながら工事を進め、地元にとって素晴らしい駅となるように努めていく。駅のデザインや仕様、高架下の活用などの要望については、内容によっては地元にご負担いただくこともあるものの、具体的な考えがあれば早めに提示していただき、対応可能な部分はしっかり対応していきたい。

●意見交換会におけるJR東海からの回答を踏まえて

○半の沢の生コン問題について、現在は鋼製の受けを設置し、然るべき場所で中和して処分するという対応をとっていただいた。他工区においても同様の対応を行うようお願いする。（中川村）

○発生土置き場小和田のように、地域のためになる発生土置き場について力を発揮していただきたい。（中川村）

○半の沢の生コン問題については、他工区の現場でもしっかり対応していく。（JR東海）

○リニア工事における発生土が地元の役に立つということは、良いことだと思う。小和田の発生土置き場が円滑に進むよう、引き続きご協力をお願いしたい。（JR東海）

○環境測定の結果の公表について、基本的に定期的に住民に結果を公表し、何かあった時にはすぐお知らせいただけるという認識でよいか。（飯田市）

○要対策土の試験施工の結果は、今後公表いただけるのか。（飯田市）

○開業時期について、具体的な年度をお答えいただくことが難しいことは理解できるが、「こういう状態になったらこれぐらいの期間」というような目安をお答えいただくと、地元に対してや企業誘致を行う際の説明が変わってくる。（飯田市）

○環境測定の結果について、各町村の協議会等で定期的にご報告している。飯田市の場合、全体の協議会がないため、各地区に行った際に報告するということはできるかと思う。また、全体的な環境測定の結果は、1年に1回年次報告という形で公表している。（JR東海）

○要対策土の試験施工の結果について、必要であれば南信州広域連合の会議などで説明することは可能。（JR東海）

○開業時期について、ご迷惑をおかけしていることは承知している。静岡工区の早期着手に向けて真摯に対応していくので、ご理解をいただきたい。（JR東海）

○要対策土の試験施工の結果など、「安全だ」という情報を積極的に公表していただくことが活用に繋がると思う。積極的な公表をお願いしたい。（飯田市）

○承知した。（JR東海）

○盛土による住民の不安を取り除くため、JR東海、市町村、県が一緒になって対応する必要がある。盛土をしたことで安全になった事例などを発信できる仕組みをみんなで考える必要がある。（豊丘村）

○南木曾町の意見であるリニア対策会議や独自調査等に対しての人的財的支援について、私も昔からよく言っていた。小さい町村は職員も少ない中、一生懸命やっている。ぜひともお考えいただきたい。（豊丘村）

- 盛土については、令和5年1月1日に施行される盛土条例により、住民の方には、「県もチェックしている」と安心いただけるような形になると思う。情報発信についてはご相談していく。（JR東海）
- 小さい行政単位で予算の制約がある中でご協力いただいている部分は、ありがたく思っている。ご相談させていただきながら、できる対応を進めさせていただきたい。（JR東海）
- だいぶコロナも落ち着いてきている面もあるので、ぜひ皆さんコミュニケーションを取れる状況を作っていただきたいと思う。（豊丘村）
- リニア開業後、定期券は作られるのか。開業後の地域づくりをやっていくうえで、二地域居住や首都圏への通勤を考えると、そういうPRができるかどうか重要になる。検討をお願いしたい。（高森町）
- どのように多くの方々にご利用いただくか、中間駅周辺にお住いの方々にどのようにご利用いただくかは、しっかり考えていきたい。また、中間駅にたくさんの人に来ていただくことも必要かと思うので、よく考えていきたい。（JR東海）